

令和5年度 第2回 知立市環境審議会 議事概要

- 1 日時 令和5年8月24日（木）午後2時から午後4時
- 2 場所 知立市役所 第9会議室
- 3 出席者及び欠席者
 - (1)出席者 大里健二 会長、上野裕則 委員、日比野佐知子 委員、野畑悦雄 委員、永田久枝 委員、甲斐春美 委員、棚橋勝樹 委員、足立達信 委員
 - (2)欠席者 山本裕嗣 副会長、小川雄一 委員
 - (3)事務局 小栗朋広 市民部長、奥村康明 環境課長、宮本恵美 環境課長補佐兼ゼロカーボン推進係長、金山弘一 ごみ減量係長、水谷亮介 環境課主査、森田紘圭・近藤美沙希（共に大日本ダイヤコンサルタント）

4 議事

(1) 協議事項

第2次知立市環境基本計画中間見直しについて
～中間見直しにかかる目標設定や指標に対する審議～

(2) 報告事項

令和5年度版（令和4年度実績）「清掃事業概要」について
令和5年度版（令和4年度実績）「知立の環境」について

【協議事項に関する主な意見・質疑応答】

委員 SDGs のゴールの位置付けは第1回審議会での意見が反映されて、非常に分かりやすくなったと思う。基本目標3の内容について「美化意識の向上」や「ごみのない美しいまちづくり」は表現が抽象的なので、よりわかりやすい内容への修正を検討してほしい。

事務局 基本目標3の内容については意見を踏まえて検討する。

委員 P36 具体の施策例について、熱中症対策として学校・保育園の対策を強化することは大変よいと思うが、学童保育等についても目を向けて配慮をしてほしい。教育現場での環境教育は非常に重要であり、新聞社等でも資料の提供をしていると聞く。指導者の方の認識を深めるためにも民間企業との連携や、校長会の審議会への出席等も進むとよい。

今回の審議にあたって、愛知県の一般廃棄物処理事業実態調査の資料等を読んできた。人口別にランキング等も掲載されており、他市と比較したときの知立市の現状を把握することができた。以前は町内ごみ集積所に立ち当番者がいたと思うが、現在廃止されている理由はごみの適正処理が進んだということか。また生ごみの適正処理はどれだけ進んでいるか。

事務局 立ち当番は町内会にお願いしていたものの、町内会の人手不足や負担の増加等により持続的な実施が難しい地区もあることから、現在は立ち当番なしでごみの集積所の運営を実施している。

生ごみについては、処理機の貸出事業等も実施しており、実際に利用実績がある。一方で、コンポストはたい肥の利活用方法がないという課題もあるが、簡易的なコンポスト制作の講座なども予定している。

委員 講座での周知は非常によいと思う。出前講座等でもより一層の情報発信の強化、個人の意識向上に働きかけてほしい。

委員 P38の進捗管理指標の出前講座の内容はどんなものか。

事務局 生涯学習の観点から実施している出前講座の中で職員を派遣してごみの話をしている実績がある。

委員 第1回の審議会でも議論があったが、クリーンセンターへの見学は一部の学校に限られているので全市的に進めてほしい。

事務局 第1回審議会での議論を受けて、担当課に確認したところ、1校を除いて毎年見学を行っているという回答を受けた。全校見学が可能なよう引き続き調整を進めていきたい。また学校教育については「ごみのゆくえ」の配布等を実施しているほか、刈谷知立みらい電力の設立を契機とした新たな学習機会の提供も前向きに検討していきたい。

委員 P20削減目標について、国の削減目標に基づいて目標設定をしていると思うが、自治体の努力で達成ができるものか疑問に感じる。

事務局 P21に示す通り、市だけではなく国・県などの温暖化対策を含めて、施策が推進され目標達成に向かっていくイメージであると考えていただきたい。

委員 削減目標の中には家庭部門もあることから、各家庭の意識改革が必要だと感じている。環境問題に興味を持たない層の底上げや関心を持ってもらうためには、具体的な取り組み例の情報発信と、その成果の見える化が重要である。自分の取り組んだことが結果に繋がっているんだと実感できると継続的な実施にも繋がると思う。ランキングなどがあれば、より自分自身の取組を客観的に評価できてよいと思う。自分も今回の審議会の参加を通じて、自分の家庭の取組を再評価できた。

委員 第1回審議会でもポイントで見える化するなどの意見もあったと思う。取組の推進という点では、賞や景品などを用意する方法もあるのでは。

委員 電気事業者が同じようなサービスを展開しているので一度見てみてほしい。行政の取組だけでは限界があるので、民間のサービスを活用したり、自分自身が情報の発信源となって活動を進めていただきたい。

委員 先ほどポイントの話があったが、クリーンサンデーから「ちりゅうエコアクションスタンプ」を開始している。こちら活動のきっかけや動機付けを支援する方法として推進していきたい。

環境美化推進委員についても、町内会から一定数を出してもらおうという仕組みにすれば、目標値は達成できるが、現在はあえて自主性を重視する取組方針で実施している。

委員 計画冊子のP15をよく見てもらうと「うちエコ診断ソフト」の内容の記載もある。このような既存のシステムを活用すること、知ってもらうことも重要である。行政は情報発信が得意でないこともあるので、現況の診断ツールやコン

テントをうまく周知して、市民の皆さんに活用していただきたい。

削減目標値については、国の削減目標を参照していると思うが、知立市の人口増減や地域の実態を踏まえて検討いただきたい。

【報告事項に関する主な意見・質疑応答】

委員 クールチョイスの目標はホームページに掲載とあるが、わざわざホームページまで見に行く人がどれだけいるか、広報誌など多くの人の目に留まる媒体への掲載も検討してはどうか。

事務局 ホームページへの誘導については、LINE で通知し、ホームページへ飛べるような方法も実施している。現在、知立市公式 LINE の登録者はかなり多く、情報発信に効果的なツールであることから、定期的に情報発信を行っている。
また広報誌については月 2 回の発行から 1 回に変更になったこともあり、掲載内容に限りがあるため、毎月の掲載は難しいが、担当部署と連携しながら前向きに検討したい。

委員 環境美化推進委員の活動の際には保険加入をしていると思うが、プロギング参加者の保険はどうなっているか。

事務局 定員 50 名の参加者は保険加入をさせていただいている。

委員 個人で取り組めることの一つに「フードドライブ」があり、弊社の事務所も回収の拠点となっている。フードドライブにもぜひ積極的な参加をお願いしたい。

委員 家庭におけるごみの減量が課題だと思う。具体的な活動を示してもらえると実行性も高まると思うので、具体的な例を示していただきたい。

委員 警察としては不法投棄に関して、継続的な監視やパトロールの実施をお願いしたい。不法投棄の検挙者の中にはそもそもルールを知らなかったり、規範意識がなかったりする人もいるので意識向上や普及啓発の推進をお願いしたい。

委員 微生物の研究をしており、生態系や環境の講座については刈谷市でも実績があるのでぜひお声掛けいただきたい。

委員 先ほど不法投棄の監視カメラの話があったが、水害に関して河川を監視するライブカメラ等はあるか。先日の大雨の際に危機を感じて、キャッチネットワークのライブカメラを活用した。

事務局 河川管理者として愛知県がカメラを設置しており、ホームページ等で情報提供していると思うので活用いただきたい。

(午後 4 時終了)